

【脳卒中後運動麻痺】の【治療】のため当院に入院・通院されていた患者さんの診療情報を用いた臨床研究に対するご協力をお願い

研究責任者 所属 慶應義塾大学医学部リハビリテーション医学教室 職名 専任講師
氏名 川上途行
連絡先電話番号 03-5363-3833

実務責任者 所属 慶應義塾大学医学部リハビリテーション医学教室 職名 専任講師
氏名 川上途行
連絡先電話番号 03-5363-3833

このたび当院では、上記のご病気で入院・通院された患者さんの診療情報を用いた下記の医学系研究を、医学部倫理委員会の承認ならびに病院長の許可のもと、倫理指針および法令を遵守して実施しますので、ご協力をお願いいたします。

この研究を実施することによる、患者さんへの新たな負担は一切ありません。また患者さんのプライバシー保護については最善を尽くします。

本研究への協力を望まれない患者さんは、その旨を「8 お問い合わせ」に示しました連絡先までお申し出下さいますようお願いいたします。

1 対象となる方

西暦 2015 年 1 月 1 日より 2018 年 5 月 31 日までの間に、リハビリテーション科にて脳卒中後運動障害の治療のため入院し、リハビリテーションを受けた方

2 研究課題名

承認番号 20180012

研究課題名 脳卒中患者の運動麻痺と神経生理学的検査結果に関する後方視的解析

3 研究実施機関

慶應義塾大学医学部リハビリテーション医学教室・慶應義塾大学病院リハビリテーション科

4 本研究の意義、目的、方法

脳卒中後運動麻痺は患者の日常生活に大きな影響を与える社会的問題の一つです。運動麻痺には両側の脳からの経路や脊髄での調整機構が影響していると考えられていますが、それらを示す客観的なデータはまだ少ないのが現状です。

本研究の目的は脳卒中後の運動麻痺の重さと両側大脳半球からの経路、脊髄での調整（相反性抑制）、末梢神経の反応の関係を検討し、運動麻痺の回復に関連する因子を抽出することです。方法としては診療録より年齢、性別、病型（脳梗塞・脳出血、その他）、病巣、発症からの期間、運動麻痺の重症度（Fugl Meyer Assessment）、感覚障害の程度、運動誘発電位（MEP）、H波、相反性抑制などの情報を収集し、統計学的な解析を行います。

5 協力をお願いする内容

診療録内の上記項目・画像データの閲覧をお許しいただければ幸いです。

6 本研究の実施期間

西暦 研究実施許可日（通知書発行日）～2019年6月30日（予定）

7 プライバシーの保護について

- 1) 本研究で取り扱う患者さんの個人情報、氏名と患者番号のみです。その他の個人情報（住所、電話番号など）は一切取り扱いません。
- 2) 本研究で取り扱う患者さんの診療情報は、個人情報をすべて削除し、第3者にはどなたのものかわからないデータ（匿名化データ）として使用します。
- 3) 患者さんの個人情報と匿名化データを結びつける情報（連結情報）は、本研究の個人情報管理者が研究終了まで厳重に管理し、研究の実施に必要な場合のみに参照します。また、研究終了時に完全に抹消します。
- 4) なお連結情報は当院内のみで管理し、他の共同研究機関等には一切公開いたしません。

8 お問い合わせ

本研究に関する質問や確認のご依頼は、下記へご連絡下さい。

また本研究の対象となる方またはその代理人（ご本人より本研究に関する委任を受けた方など）より、診療情報の利用の停止を求める旨のお申し出があった場合は、適切な措置を行いますので、その場合も下記へのご連絡をお願いいたします。

慶應義塾大学医学部リハビリテーション医学教室 川上途行

電話番号 03-5363-3833 keiourehab@gmail.com お電話の場合は平日9時より17時の間にご連絡下さい。

以上